※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０１

令和８年度　保健体育科

教科	専 体育	科目	スポーツⅠ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・グループ練習の時間には、仲間で意見を出し合い、ワークシートを作成し、計画的に授業を進めていけるようにしましょう。
・グループ練習をしていく中で、状況に応じた適切な声かけやアドバイスの方法を学びましょう。
・自他の運動を観察、分析し、運動に対して興味関心を高めていき、楽しさ、喜び、達成感を仲間で一緒に味わいましょう。
・一人ひとりが周囲に気を配りながら、安全に留意して授業に臨みましょう。

2　学習の到達目標

・陸上競技と水泳の２種目の競技を継続的に学び、高度な技能の向上と、測定競技の専門的知識の習得を目指す。各競技の特性を理解して、各自課題解決に向けて計画的な練習を進め、測定の実践ができる力をつける。
・生徒同士での主体的な学び合いの中で、お互いに観察、分析を行い、適切な声かけやアドバイスができる力をつけるとともに、それらを自身の技能向上へと繋げていけるようにする。生涯を通してスポーツを継続することの楽しさ、大切さを理解する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じ、記録の向上や、表現するための各領域の運動特性に応じた、段階的な技能を身につける。 運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題の解決方法、練習や発表の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保について、具体的な方法を理解している。	知識を活用し、技能向上に繋げることができる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かしている。	スポーツⅠの目標を理解し、達成に向けて意欲的に取り組んでいる。 スポーツを継続的に学ぶことで、主体性と仲間と協働する態度を身につける。 結果や記録を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	陸上競技	オリエンテーション 陸上競技 ・生徒主体のグループ練習計画の実践 ・短距離走 ・ハードル走 ・記録会	a: 技の名称や身体の動かし方、運動観察の方法などを理解している。基礎技能の習得に向けて仲間と連携・協力する態度と困難な課題に対して諦めない姿勢で、習得にいたるまで工夫して取り組んでいる。 b: 基礎技能の習得にともなう基礎知識を学習し、グループ練習において計画的かつ適正な練習が実践できるよう工夫をしている。 c: 自己の課題やグループでの課題に対し、解決に向けて主体的に取り組み、仲間と協働する姿勢を見せている。	学習ノート 観察	学習ノート 観察	学習ノート 観察
2学期	水泳	水泳 ・生徒主体のグループ練習計画の実践 ・自由形 ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ ・記録会	a: 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。水泳の特性に応じた効率的な泳法を身につけている。 b: 生涯にわたって水泳を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、工夫して取り組んでいる。 c: 水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように、記録を冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど、健康や安全を確保している。	学習ノート 観察	学習ノート 観察	学習ノート 観察
	陸上競技	陸上競技 ・生徒主体のグループ練習計画の実践	a: 技の名称や身体の動かし方、運動観察の方法などを理解している。高度な技能の習得に向けて	学習ノート 観察	学習ノート 観察	学習ノート 観察

※令和４年度以降入学生用

3学期		・跳躍種目 ・長距離(3学期から実施) ・記録会	仲間と連携・協力する態度と困難な課題に対して諦めない姿勢で、習得にいたるまで工夫して取り組んでいる。 b: 高度な技能の習得にともなう高度な知識を学習し、グループ練習において計画的かつ適正な練習が実践できるよう工夫をしている。 c: 自己の課題やグループでの課題に対し、解決に向けて主体的に取り組み、仲間と協働する姿勢を見せている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度